

実務経験のある教員等による授業科目の
授業計画書（シラバス）

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
音楽表現指導法	1	後期	演習	1	中村 佳代子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ：幼稚園教育要領、保育所保育指針等における幼児教育の基本を踏まえ、乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容を理解し、年齢ごとの発達に相応しい音楽表現の指導内容を検討し、立案、実践する方法を身に付ける。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針等における幼児教育の基本、領域「表現」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 2. 乳幼児期の発達を理解し、年齢に応じた音楽表現の活動内容と指導上の留意点を理解している。 3. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 4. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付け、保育構想の向上に取り組むことができる。 					
<p>○授業の概要【実務経験を有する教員による講義】</p> <p>乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容について理解を深め、乳幼児期の年齢ごとの発達を理解して音楽表現の活動内容を主体的・対話的に学び、その指導方法を身に付ける。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児期の音楽表現の姿と関連付けることを通して理解する。</p> <p>第2回：手具（スカーフ・ボール等）を活用した音楽表現活動の指導法</p> <p>第3回：手具（フラフープ等）を活用した音楽表現活動の指導法</p> <p>第4回：楽器を活用した音楽表現活動の指導法、楽器の奏法と指導法</p> <p>第5回：身近な素材を活用した音楽表現活動の指導法</p> <p>第6回：音楽表現活動における教材の活用法について</p> <p>第7回：0～2歳児の発達と音楽表現指導 － グループで指導内容を考え立案</p> <p>第8回：0～2歳児の発達と音楽表現指導 － 模擬保育と振り返り</p> <p>第9回：3歳児の発達と音楽表現指導 － グループで指導内容を考え立案</p> <p>第10回：3歳児の発達と音楽表現指導 － 模擬保育と振り返り</p> <p>第11回：4歳児の発達と音楽表現指導 － グループで指導内容を考え立案</p> <p>第12回：4歳児の発達と音楽表現指導 － 模擬保育と振り返り</p> <p>第13回：5歳児の発達と音楽表現指導 － グループで指導内容を考え立案</p> <p>第14回：5歳児の発達と音楽表現指導 － 模擬保育と振り返り</p> <p>第15回：幼児の音楽表現のまとめ</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>『新たなしいこどものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院</p>					

『ユニバーサルデザインの音楽表現』 星山麻木編著 萌文書林

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

受講態度 30%

提出物 30%

講義内発表・実技試験 40%

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
キャリア講座	2	通年	演習	2	武藤幸穂
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会人として必要な基礎教養を身につける。 2. 職業としての保育や福祉の分野について理解する。 					
<p>○授業の概要【実務経験を有する教員による講義】</p> <p>授業は、主に講演視聴、文書指導、講習会参加などの形式で行われます。適宜レポートを提出してください。 授業の内容は、主に保育・福祉に関するもの、基礎教養に関するもの、就職に関するものです。</p>					
<p>○授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業的社会化 2. 就職の現状と対策 3. やりがいのある仕事と向いている仕事 4. 就職試験手続き要領および履歴書・登録票の作成 5. 求人票の見方および就職先選定要領 6. 実習に臨んで 7. 幼稚園で働くということ 8. 保育園で働くということ 9. 施設で働くということ 10. 就職対策試験(面接) 11. 就職試験対策(作文・小論文①) 12. 就職試験対策(作文・小論文②) 13. 先輩からのアドバイス：講話 14. テーブルマナー 15. 前期総括 16. 免許申請① 17. 保護者支援について 18. 就職内定後の手順および防火訓練 19. 金銭セミナー 20. 免許申請② 21. 学生のための消費者トラブル対処法 22. 保育者としての健康管理(喫煙・ドラッグ) 23. 労働法制等に関する周知 24. 社会人として成功するために 25. クレヨンで友だちを描こう 					

- 26. 同和教育
- 27. 公的年金制度にかかわる周知
- 28. 免許申請③
- 29. メイクアップ講座
- 30. 後期総括

○テキスト

随時、資料を配布します。

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

提出物について60%、出席状況ならびに受講態度について40%で評価します。

出席に際して、女子は制服を男子はスーツを着用してください。

幼児教育科（1～2学年）（講義・演習・**実習**）

（施設実習と合わせて4単位） 担当者 [松崎 優 神田諭志 中萩知治 松永久子]

授業の概要【実務経験を有する教員による講義】

保育士資格取得上、必修の実習である。厚生労働省が示す「保育実習実施基準」に基づき、保育所の機能と役割、保育士の職務、子どもの実態などについて保育現場で学ぶ体験学習である。保育実習Ⅰでは、これまでに学んだ教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養うものである。

【授業要旨】

回数	授 業 内 容（ 実 習 内 容 ）
1	実習手続きを完了する
2	事前指導を受ける
3	腸内細菌検査を受ける
4	実習園でのオリエンテーションを受ける
5	観察・参加実習（子どもの最善の利益の配慮の具体例について知る）
6	指導実習（部分実習）
7	実習終了後、実習園に実習記録を提出する・お礼状を出す
8	事後指導を受ける
9	実習報告会に参加する
10	実習記録を本学担当教員に提出する

※授業予定回数と必ずしも合致するものではありません。

【評価の方法】

実習園の評価 実習記録 提出物

【テキスト】

「教育・保育実習のしおり」第一幼児教育短期大学

「保育実習」 公益財団法人 児童育成協会 監修 中央法規

【参考書】

「保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（原本） チャイルド社

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
保育実習 I (施設)	1・2		実習	4	松崎優、神田諭志、中萩知治、松永久子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する 2. 観察や子ども（利用者）とのかかわりを通して子ども（利用者）への理解を深める。 3. 子ども（利用者）への保育（支援）及び保護者（家庭）への支援について総合的に理解する。 4. 保育（支援）の計画・観察・記録及び自己評価等について理解する。 5. 保育士の業務や職業倫理について具体的に理解する。 					
<p>○授業の概要【実務経験を有する教員による講義】</p> <p>児童福祉施設等（保育所以外）において実際に子どもたちや利用者とかかわることを通して、それぞれの実習先施設における保育士又は対人援助専門職の役割と意義について理解する。またこれまで大学で履修した教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用能力を養うために体験、学習し養護の理論と実践の関係について習熟する。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>（児童福祉施設等（保育所以外）における実習の内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設の役割と機能 <ol style="list-style-type: none"> （1）施設における子ども（利用者）の生活と保育士の援助やかかわり （2）施設の役割と機能 2. 子ども（利用者）の理解 <ol style="list-style-type: none"> （1）子ども（利用者）の観察とその記録 （2）個々の状態に応じた援助やかかわり 3. 施設における子ども（利用者）の生活と環境 <ol style="list-style-type: none"> （1）計画に基づく活動や援助 （2）子ども（利用者）の心身の状態に応じた生活と対応 （3）子ども（利用者）の活動と環境 （4）健康管理・安全対策の理解 4. 計画と記録 <ol style="list-style-type: none"> （1）支援計画の理解と活用 （2）記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と倫理 <ol style="list-style-type: none"> （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携 （3）保育士の役割と職業倫理 					
<p>○テキスト</p> <p>新保育基本シリーズ② 「保育実習」 公益財団法人児童育成協会監修 中央法規</p>					

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

実習先施設からの評価 72% 実習記録などの提出書類 28%